

# 元気一番！商店街

2014.  
第27号

## 1 はじめに

明けましておめでとうございます。新年を迎え、これからますます寒くなっていくと思われませんが、健康にはくれぐれもお気を付け下さい。

今年も大阪市内商店街の魅力や元気な取組みをたくさんお届けしたいと思いますので、引き続き、ご愛読をよろしくお願いいたします。

## 2 今市商店街振興組合（旭区）

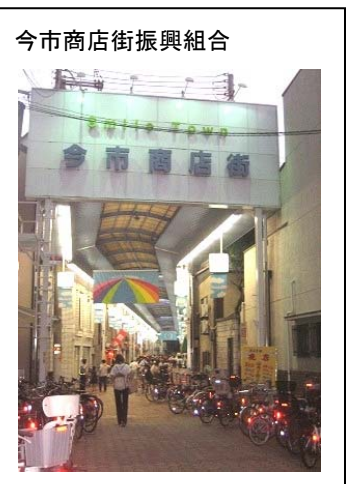
さて、本号では、地下鉄太子橋今市駅の南側、京阪千林駅の西側に位置し、千林商店街とも連なる「今市商店街振興組合（旭区）」に伺い、商店街の取組みに加え、理事長がお勧めするお店「店善（みせぜん）」を取材してきました。



### (1) 商店街活性化への取組み

今市商店街振興組合では、これまで商店街活性化に向け、夏の夜店等のイベントや、高齢者休憩施設の設置のほか、地域の町会等と協力して様々な活動に取り組んできています。

さらに、今年2月15日（土）（13:00～16:00）には、旭区役所と地域商店街団体が協働して、まちの活性化に向けて取り組む、「旭区商店街まつり」が千林くらしエール館3階で実施されることとなっています。



高齢者休憩施設



「旭区商店街まつり」では、古市小学校の「キッズマート」の紹介や大阪工業大学の「商店街店舗デザイン展」などの催しが多数予定されているようです。

旭区商店街まつり



## (2) 今市商店街振興組合理事長へのインタビュー

理事長の安田さん



今市商店街振興組合の理事長の安田さんに、商店街の取組み等について伺いました。理事長の安田さんによれば、「アーケードが500mあり、古くからの老舗も多い商店街ですが、商店街団体の会員が高齢化し、跡継ぎ問題が深刻化してきています。このままでは商店街の活動が維持できなくなるおそれもあります。そうならないためにも、今後は若い世代のやる気を引き出していけるような組織づくりを行い、商店街の活性化に努めていきたいと考えています。」

こうした中で、地域の町会や他の商店街団体とも連携を図り、様々なイベントを企画実施するほか、今年にはアーケードの屋根部分の取替や防犯カメラの増設等を実施し、より安全で安心な街づくりを目指して取り組んでおられます。「地域の人に愛される商店街づくり」をモットーに真摯に活動される姿勢には、我々も見習うべき点が多いと思いました。

## (3) 果物専門店「店善（みせぜん）」

商店街の南側、千林商店街（振）に繋がる交差点の近くに「店善」があります。同店は、明治8年から続く老舗店舗で、現在の店主（奥本さん）が四代目となるそうです。

もともと江戸時代には「道の休憩所」のようなところであったようで、様々な雑貨も取り扱っていましたが、徐々に野菜や果物の販売もするようになり、その後、現在の果物専門店となったとのことでした。

店主の奥本さんによれば、「高級品の大量化を図るために、商売をしています。」とのこと、安価な商品からデパートでも売られる高級品まで、幅広い品揃えが特徴です。

店舗の様子



店主の奥本さん(右)とご家族



豊富な品揃え



「長年商品に関わってきた経験に基づき、商品知識には自信を持っています。スーパーにはない品質、サービスが提供できるように努めていますので、果物について分からないことがあったら何でもご相談ください。」と、常連を中心に、多くの地元の人々からも親しまれているようです。

また、店内には贈答用の詰め合わせや、珍しい商品も多数取り揃えていますので、皆様も同商店街を訪れた際には、果物に関する質問をしてみてくださいでしょうか。

店舗内の様子

